

北部太平洋大中型まき網地域漁業復興プロジェクト（石巻地区）

事業実施者：北部太平洋まき網漁業協同組合連合会 使用船舶名：第三十一日東丸船団（網船325トン）
支援期間：平成25年2月1日～平成28年1月31日 （大中型まき網漁業）

（取組の内容）

- 船団の合理化：網船（135トン）に代わり運搬機能付き網船（325トン）を導入
1船団5隻51名体制から2隻32名体制（運搬機能付き網船1隻、運搬船1隻）に移行
- 資源管理の推進：「マサバ太平洋系群管理方策」及び「北部太平洋まき網漁業におけるサバ類の試験的IQ管理実施計画」に協力
- 省コスト化：船団の合理化による燃油消費量及び氷塩代・修繕費等の削減
- 高品質製品の生産水揚：被災した石巻港・女川港へのブライン凍結品及びPS製品の積極的な生産と水揚
- 高品質製品の生産水揚：震災による水揚船減少の中、積極的に石巻港に水揚し、地元水産業及び関連産業の復興並びに金華カツオ・サバのブランド化に協力



運搬機能付き網船（325トン）



PS製品

（事業の成果）

- 乗組員32名体制で操業できることを実証した。
- 燃油消費量（2,723kl、3年平均）は計画に比し約12%（377kl）削減した。**
- 水産系高等学校の新卒者4名、中学校の新卒者1名の若手乗組員を確保できた。
- ブライン凍結品を1,227トン（3年平均）生産し、売上額200百万円（同）を確保した。
- 石巻港へカツオ・マグロ類：1,212トン（3年平均）、イワシ・サバ類：1,839トン（同）を水揚げし、地域復興並びに金華カツオ、金華サバブランド製品の販売に貢献した。